

施策番号	0702		
施策名	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）		
概要	国際的・全国的規模の競技大会の開催・振興に向けて、西京極諸施設の競技・観戦環境の充実、マラソン等の総合スポーツイベントの開催、プロスポーツへの支援の促進に取り組む。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関する主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 プロスポーツ・全国規模大会の開催日数(日)	a	a	133	132	111	118.9%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
			客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	平成29年度	平成30年度	令和元年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。	d	d	27	117	171	168	167	650	d
			4.2%	18.0%	26.3%	25.8%	25.7%		
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
			市民生活実感調査総合評価						d

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている				平成30年度	C
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感		
(重み付けの理由) 市民がトップレベルのスポーツに身近に触れることを目指す施策であるため、市民の実感を重視する。					平成29年度	C
(原因分析)客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						
(原因分析)市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・京都を本拠地とするプロスポーツチームのリーグ戦など、京都市内でプロスポーツ等が開催される機会は昨年度とほぼ同水準を維持しているが、未だ身近に感じている市民の方が少なく、興味のない方へのPR等の広報活動が十分でないと考えられる。						

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	京都スポーツの殿堂	7,165	7,557	悪い	文化市民局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・市民の誰もがもっとスポーツ観戦を楽しむことができるよう、「京都市市民スポーツ振興計画(スポーツの絆が生きるまち推進プラン)」に掲げる「みるスポーツ」を充実させる観点から、全国的又は国際的な規模のスポーツイベント等について、主催者をはじめとする関係機関と連携を図りつつ、誘致の促進に取り組んでいく。

・市民の本市スポーツ施設の更なる利用を促進するために、観戦に必要な設備・備品更新を進め、観戦環境の維持向上を図っていく。また、スポーツ施設の計画的改修に向けた取組を推進していくとともに、魅力ある施設にするための大規模改修も実施していく。

施策名	0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）				
指標名	プロスポーツ・全国規模大会の開催日数（日）					
担当課	市民スポーツ振興室	連絡先	366-0168			
1 指標の説明						
プロスポーツ及び競技範囲が全国に及ぶ大会の開催延べ日数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
市民が、プロスポーツをはじめ、トップレベルのスポーツに身近に触れることができていることを示す指標			出典：事業担当調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	133	132	1日減	111	平成20年度の数値（76日）と令和2年度に土日祝日にどこかで何かが開催されている状態（120日）を目標として各年度の目標を等比的（約3.9ポイント増/年）に算出	118.9%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値		120日	令和2年度	110.0%	令和2年度に何らかの大会が土日祝日に開催されている状態（120日）を目標とする。	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満		当該指標については、目標値達成以上をaとし、以下を10%刻みで基準を設定した。		平成29	平成30	令和元
				a	a	a